

第53回日本薬剤師会学術大会 in 札幌 2020年10月10日～11日

# 健康サポート薬局に関する 管理薬剤師の意識調査

○吉岡優子<sup>1,2)</sup>、末澤克己<sup>1)</sup>、城戸真由美<sup>1,2)</sup>、廣田憲威<sup>1,3)</sup>



JACP

Japanese Association for Community Pharmacy

- 1) 一般社団法人 日本コミュニティーファーマシー協会
- 2) 有限会社 ネオフィスト研究所
- 3) 一般社団法人 大阪ファルマプラン

# **第53回日本薬剤師会学術大会 利益相反の開示**

筆頭演者名：吉岡 優子

**私は今回の演題に関連して、  
開示すべき利益相反はありません。**

# 【目的】

2016年10月より、「患者のための薬局ビジョン」の具体化のひとつとして、「健康サポート薬局」の届出が開始された。しかし、2019年12月末現在で1,797薬局（全薬局の約3%）、2020年6月末でも2,160薬局（同約3.6%）に留まっている。その要因として様々なことが推測されているが、未だ詳細な検討はなされていない。

今回、日本コミュニティファーマシー協会（JACP）に加盟または本研究に賛同した薬局の管理薬剤師を対象に、健康サポート薬局の届出に関する現状と課題について調査した。

# 【方法】

## ① 調査協力薬局の公募

2019年9月から10月にかけて、JACPのホームページならびに、各種研修会を通じて、調査協力薬局の募集を行った。

## ② 調査期間 2019年11月～12月

## ③ 調査用紙の送付

調査に協力する意思を表明した24カ所の薬局法人に対して調査用紙を送付し、各法人から法人内の薬局に配布された。調査用紙の回収は郵便で行った。

## ④ 倫理審査

本研究は、JACP倫理審査委員会の事前承認を得て実施した(承認番号:201901)。

# 【調査用紙】

アンケート その1

## 健康サポート薬局に関する管理者アンケート【薬局管理者用】

このアンケートは、**薬局の管理者の方のみ**がご回答ください。  
以下、該当する箇所にご印を付けてください。  
「 」には数値の記入または自由記載してください。

法人名 \_\_\_\_\_ 薬局名 \_\_\_\_\_

ご記入者氏名 \_\_\_\_\_

① 調剤基本料  基本料1 (41点)  基本料2 (25点)  それ以外

② 地域支援体制加算の届出  している  していない

③ 後発医薬品体制加算の届出  
 1 (75%以上)  2 (80%以上)  3 (85%以上)

④ 「健康サポート薬局」の研修を修了した薬剤師数(2019年4月現在)「 」人

⑤ 貴薬局は「健康サポート薬局」の届出をされていますか？  
 している(基準適合年月: 年 月) ⇒ 問⑧へ  
 していない ⇒ 問⑧へ  
 届出準備中

⑥ 「健康サポート薬局」の基準適合されている薬局にお伺いします。  
届出にあたって苦労されたことは何ですか？(複数回答可)  
 準備すべき書類が多すぎる  
 行政の担当者(業務課)の指導が厳しかったこと  
 健康サポート薬剤師の研修修了者を確保すること  
 OTCや衛生材料を揃えること  
 健康教室などのイベントを開催すること  
 その他「 」

アンケート その1

⑦ 「健康サポート薬局」が一番実感できる取り組みは何ですか？(ひとつだけ回答)  
 薬局利用者や地域住民を対象にした健康教室などの情報提供活動  
 OTCやサプリメントなどの販売や相談活動  
 薬局内外での血圧・血糖値などの健康チェックの取り組み  
 その他「 」

問⑧～⑩は健康サポート薬局の届出をしていない薬局のみご回答ください

⑧ 今後「健康サポート薬局」の届出をされる意向はありますか？  
 ある  
 ない ⇒ 問⑧へ  
 検討中

⑨ 「健康サポート薬局」を届けられていない理由は何ですか？  
 届出するための基準に適合していないため ⇒ 問⑧へ  
 届出するための基準に適合しているが、あえて届出していない ⇒ 問⑧へ  
 その他「 」

⑩ 健康サポート薬局の基準のどこが満たしていないですか？(複数回答)  
 健康サポート薬剤師の研修修了者が2名以上いない  
 総時間数が基準に達していない  
 フライバシーを確保できる場所がない  
 求められるOTCが設置できていない  
 在宅訪問ができていない  
 かかりつけ薬剤師がいない  
 健康教室などのイベントが開催できていない  
 その他「 」

⑪ 問⑧で「届出の意向が無い」、問⑨で「届出するための基準に適合しているが、あえて届出していない」と回答された方の理由は何ですか？(複数回答可)  
 調剤報酬上の評価がないから  
 届出するための書類の準備が面倒だから  
 あえて届出しなくても、実質的に「健康サポート薬局」の機能を発揮しているから  
 職場での同意が得られないから  
 その他「 」

# 【調査用紙】

アンケート その1

以下の質問は「健康サポート薬局」の届出の有無にかかわらずご回答ください

⑩ 「健康サポート薬局」に関して、厚労省や自治体（薬務課）に期待することは何ですか？

現在の基準をもっと厳しくすべき  
具体的にあればお書きください  
「 \_\_\_\_\_ 」

現在の基準をもっと緩和すべき  
具体的にあればお書きください  
「 \_\_\_\_\_ 」

特になし

⑪ 「健康サポート薬局」に関して、日本薬剤師会や地域薬剤師会等に期待することがあればお書きください。（自由記載）

【日本薬剤師会に対して】  
\_\_\_\_\_

【地域薬剤師会に対して】  
\_\_\_\_\_

ご協力ありがとうございました。

本調査用紙は、廣田らが民医連加盟の保険薬局を対象に実施した調査用紙を活用した。

Hirota N, Okamura N  
The Japanese Community Pharmacists'  
Perceptions of the Health Support Pharmacy  
System  
Pharmacology & Pharmacy, 2020, 11, 55–70  
DOI: 10.4236/pp.2020.114006

# 【結果1】

① 回答薬局数:165薬局

② 管理薬剤師の性別

男性	36 (21.8%)
女性	13 ( 7.9%)
未回答	116 (70.3%)

③ 勤務する薬局の調剤基本料

1 (42点)	99 (45.5%)	2 (26点)	2 ( 1.2%)
それ以外	60 (36.4%)	未回答	4 ( 2.4%)

④ 地域支援体制の届出状況

している	75 (45.5%)	していない	88 (53.3%)
未回答	2 ( 1.2%)		

## 【結果2】

### ⑤ 後発医薬品調剤体制加算の届出状況

1 (75%以上)	30 (18.2%)	
2 (80%以上)	50 (30.3%)	
3 (85%以上)	49 (29.7%)	
未回答	36 (21.8%)	※未算定を含む

### ⑥ 薬局当たりの健康サポート研修修了薬剤師数

	全体	健康サポート薬局
平均	0.6人	2.2人
最少	0.0人※	1.0人
最多	4.0人	4.0人

※0人の薬局は96ヶ所(58.2%)



# 【結果3】

## ⑦ 健康サポート薬局の届出状況



## ⑧ 健康サポート薬局の届出にあたって苦勞したこと

(複数回答)

準備すべき書類が多すぎる	17
行政の担当者の指導が厳しかった	7
健康サポート薬剤師を確保すること	11
OTCや衛生材料の整備	4
健康教室などのイベント開催	10

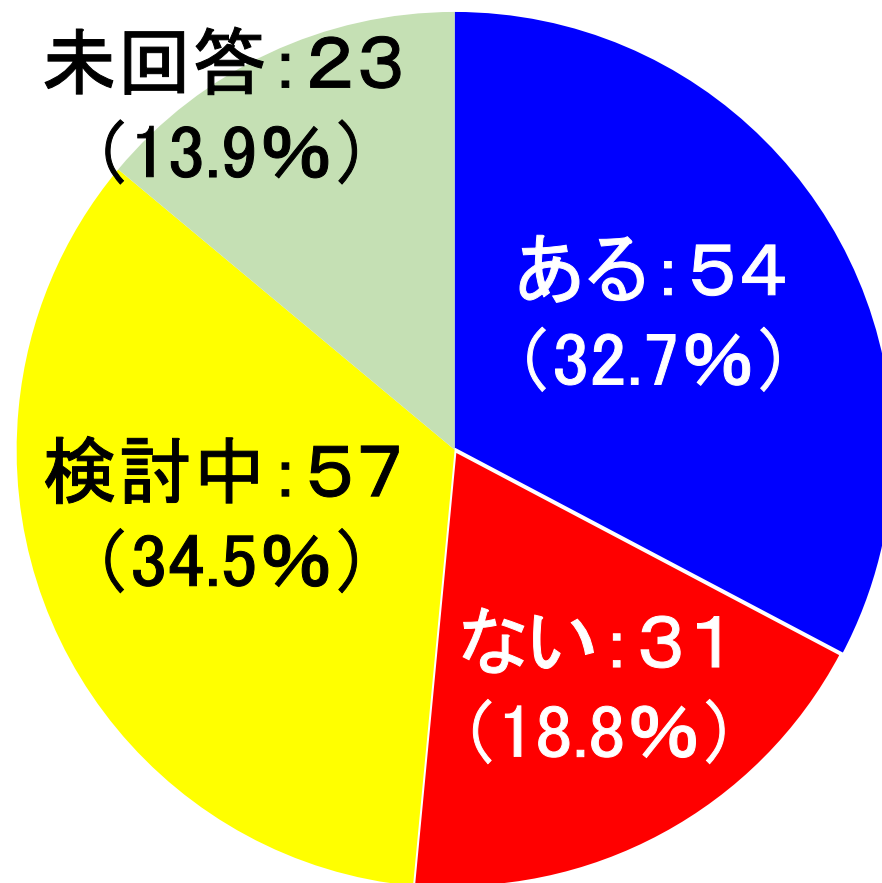
## 【結果4】

### ⑨ 健康サポート薬局が一番実感できる取り組み (ひとつだけ回答)

薬局利用者や地域住民を対象とした健康教室などの 情報提供活動	15 (71.4%)
OTCやサプリメントなどの販売や相談活動	2 ( 9.5%)
薬局内外での血圧・体脂肪などの健康チェックの取組	3 (14.3%)
その他	1 ( 4.8%)

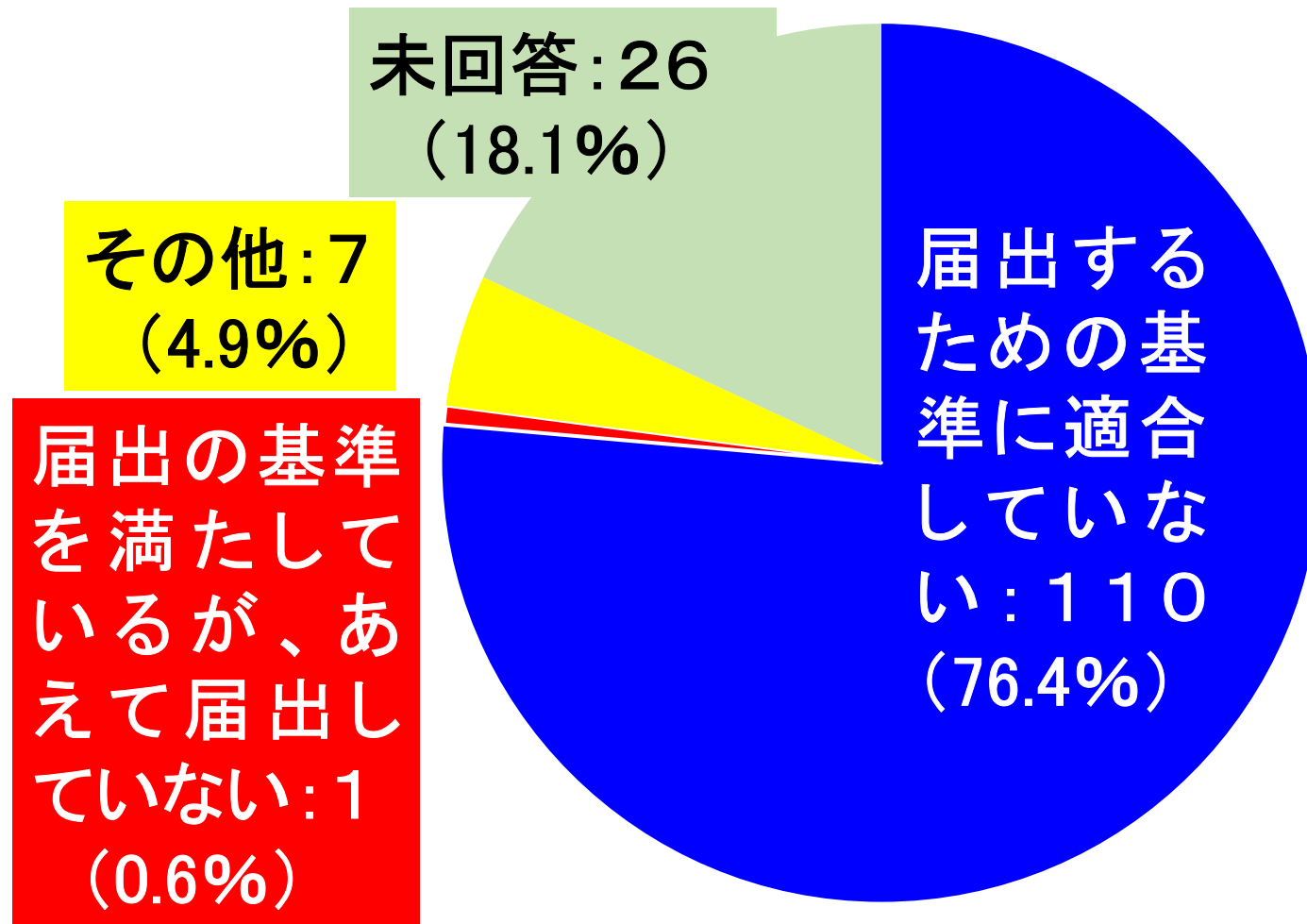
## 【結果5】 健康サポート薬局の届出をしていない薬局

⑩ 今後、健康サポート薬局の届出をされる意向はありますか？



## 【結果6】 健康サポート薬局の届出をしていない薬局

### ⑪ 健康サポート薬局の届出をされていない理由は何ですか？



## 【結果7】 健康サポート薬局の届出をしていない薬局

### ⑫ 健康サポート薬局の基準のどこが満たしていない ですか？ （複数回答）

健康サポート薬剤師が2名以上いない	107
求められるOTCが配置できない	46
健康教室などのイベントが開催できていない	38
在宅訪問ができていない	32
開局時間が基準に達していない	30
プライバシーを確保できる場所がない	25
かかりつけ薬剤師がいない	24
その他	5

## 【結果8】 健康サポート薬局の届出をしていない薬局

- ⑬ 問⑧で「届出の意向が無い」、問⑨で「届出するための基準に適合しているが、あえて届出していない」と回答した理由は何ですか？ （複数回答）

届出するための書類の準備が面倒だから	4
あえて届出しなくても、実質的に「健康サポート機能」を発揮しているから	3
職場での同意が得られないから	3
調剤報酬上の評価がないから	2
その他	23

## 【結果9】

- ⑭ 健康サポート薬局に関して、厚労省や自治体(薬務課)に期待することは何ですか？ (ひとつだけ回答)

現在の基準をもっと厳しくすべき	3( 1.8%)
現在の基準をもっと緩和すべき	69(41.8%)
特にない	78(47.3%)
未回答	15( 9.1%)





## 【結果の概要 ①】

- 調査対象となった薬局の45.5%が調剤基本料1で、1と2以外が36.3%とチェーン薬局の割合が相対的に多いと思われた。
- 調剤基本料1の99薬局のうち、75薬局(75.8%)で地域支援体制加算の施設基準を届けていた。
- 後発加算では、「2」と「3」で約6割を占めていた。
- 健康サポート薬剤師の配置は、全体平均では1薬局あたり0.6人であるのに対して、健康サポート薬局では平均2.2人であった。
- 165薬局中、21薬局(12.7%)が健康サポート薬局の基準適合を受けていた。
- 既届出薬局で苦勞した点は、「準備すべき書類が多すぎる」(17)、「健康サポート薬剤師の配置」(11)であった。
- 健康サポート薬局で実感できる取り組みは「薬局利用者や地域住民を対象とした健康教室などの情報提供活動」(71.4%)であった。

## 【結果の概要 ②】

- まだ健康サポート薬局でないところについて、届出意向が「ある」「検討中」は67.2%であった。
- 届出ができていない理由は、「基準に適合していない」(76.4%)であった。
- 基準を満たしていない最大の理由は、「健康サポート薬剤師が2名以上いない」(107)であった。
- 健康サポート薬局の条件で、回答者の41.8%は「もっと基準を緩和すべき」と回答した。
- 自由記載のテキストマイニング(共起ネットワーク)の結果は、「薬局」「健康」「サポート」「地域」のグループと、「研修」「時間」「薬剤」「基準」のグループの関連性が見られた。

## 【考察・まとめ】

健康サポート薬局を届出する上での困難要因として、研修修了薬剤師の確保と準備すべき書類が多いことが、改めて浮き彫りになった。

健康サポート薬局に求められる開局時間は最低週44時間以上である。法人格を有する薬局では、多くの管理薬剤師は開設者（法人代表）でないことから労基法の週40時間が適用される。そのため2名以上の研修修了薬剤師の配置が必須となる。

今後、健康サポート薬局を中学校区単位で1薬局以上整備していくためには、研修修了薬剤師の配置要件の見直しが必要と考えられる。また、届出書類の煩雑さと審査基準についても自治体レベルでの格差もみられることから、厚労省において統一した運用が期待される。